

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）
（デジタル実装タイプTYPE1）に係る事業実施結果報告
（交付対象事業の重要業績評価指標（KPI）の実績値等）

【事業実施結果】
地方創生に非常に効果的であった 地方創生に多少効果があった
地方創生に相当程度効果があった 地方創生に効果がなかった

資料5

No	交付対象事業の名称	事業期間	当該年度における重要業績評価指標（KPI）					当該年度における実績値			今後の方針
			指標	単位		目標値	実績値	達成率	指標に対する事業実施結果		
1	安芸太田町人材育成・交流拠点整備計画 （地方創生推進タイプ）	R3年度 ～ R7年度	指標①	広島県立加計高等学校への地域外からの入学者数	人	R3	39	40	102.6%	【広島県立加計高等学校への地域外からの入学者数】 加計高等学校の魅力化と地域外からの生徒受入れを進めるため、地域みらい留学、国際交流、部活動支援などに取り組んだ。また、地域外生徒の受入環境として、人材育成・交流センター「黎明館」の運営や、公営塾の運営を行った。これらの取組により、地域外からの入学者数は目標59人に対し実績63人となり、目標を上回った。 【拠点施設で開催する国際理解、地域課題解決研修参加者数】 拠点施設を活用して国際理解や地域課題解決に関する研修を実施したが、参加者数は目標350人に対し実績328人となり、目標達成には至らなかった。 一方で、加計高校では、地域企業と連携した探究活動として、町内事業所でのインターンシップを実施している。また、取組の成果については、加計高校の体験活動報告会等で発表し、地域課題を学びの題材とする活動が進んでいる。 【加計高校卒業後の起業・創業件数】 起業・創業件数について、目標2件に対し実績0件となり、目標達成には至らなかった。 一方で、加計高校ではローカルビジネス創出コーディネーター業務を通じて、地域企業と連携した探究活動を実施している。その中で、町内事業所でのインターンシップや成果発表を行っており、起業・創業の前段階となる地域理解やビジネス意識の醸成は進んでいる。	地方創生に相当程度効果があった
						R4	49	49	100.0%		
						R5	59	57	96.6%		
						R6	54	59	109.3%		
						R7	59	63	106.8%		
			指標②	拠点施設で開催する国際理解、地域課題解決研修参加者数	人	R3	0	0	100.0%		
						R4	200	132	66.0%		
						R5	250	286	114.4%		
						R6	300	301	100.3%		
						R7	350	328	93.7%		
			指標③	加計高校卒業後の起業・創業件数	件	R3	0	0	0.0%		
						R4	1	0	0.0%		
						R5	1	0	0.0%		
						R6	2	0	0.0%		
						R7	2	0	0.0%		
2	教育DX推進事業（デジタル実装タイプTYPE1）	R5年度 ～ R7年度	指標①	児童生徒日常所見データ登録数	件/人 1年あたり平均	R5	5	0	0.0%	【児童生徒日常所見データ登録数】 システム操作研修会を行い、校長研修会等においても所見データ登録の意味や方法を周知し、当初の実績値から数値を上昇させることができたが、目標の15件には届かなかった。教職員間において操作の習得や意識に差があることが課題として挙げられる。 【AI型ドリルの活用頻度】 定期的な利用状況の把握とその情報を校長会、教頭会へ共有を行い、利用促進に努めた。AIドリルの授業中の活用や、校内において一斉学習を行う時間を設け利活用を進めるなどの良い取組を広げ、前年度よりも数値を上げることができたが、小学校の低学年は頻繁に利用するには現実的に難しい部分があった。 【授業（教材）研究の件数】 電子黒板、学習支援ソフト等を活用した授業づくりの環境整備が進み、教育DX事業の推進により教員の授業研究の時間の確保はできたが、授業・教材研究の件数は累計42件にとどまり、目標の100件には届かなかった。 【児童・生徒の自己肯定感を計測】 児童・生徒の自己肯定感は82%となり、目標の75%を上回った。AIドリル等を活用した個別の進度に応じた学習、ICT機器による視覚的で分かりやすい授業、校務改善による教職員の支援時間の確保などが、児童生徒の学びや安心感の向上に一定程度寄与した。 【保護者への対応満足度を計測】 保護者への対応満足度は94%となり、目標の80%を大きく上回った。保護者連絡ツールや校務支援システムの導入により、学校と保護者の連絡、情報共有、対応の迅速化が進んだことが成果につながったと考えられる。	地方創生に相当程度効果があった
						R6	10	8	80.0%		
						R7	15	10	66.7%		
			指標②	AIドリルの活用頻度 週●回以上	平均起動回数/週	R5	1	1.6	160.0%		
						R6	2	1.6	80.0%		
						R7	3	1.9	63.3%		
			指標③	授業（教材）研究の件数	件/累計	R5	30	52	173.3%		
						R6	60	67	111.7%		
						R7	100	42	42.0%		
			指標④	児童・生徒の自己肯定感を計測	%/1人あたり平均	R5	65	85	130.8%		
						R6	70	81	115.7%		
						R7	75	82	109.3%		
			指標⑤	保護者への対応満足度を計測	%	R5	60	91	151.7%		
						R6	70	96	137.1%		
						R7	80	94	117.5%		